

**令和6年度**

**第2回定例記者会見**

**令和6年8月22日(木)  
午前10時30分**

招集日

令和6年8月27日(火)

議案

16件

人権擁護委員推薦の意見(1)、  
教育委員会委員任命の同意(1)、予算(1)、条例(3)  
基本構想の策定等(2)、決算認定等(7)、その他(1)

【主な内容】

- ・行田市基本構想の策定について
- ・令和6年度行田市一般会計補正予算(第4回)
- ・令和5年度行田市一般会計歳入歳出決算認定について

## 補正予算の概要

(1)補正予算額 **1億2,192万6千円**  
<一般会計 補正後累計 299億6,786万1千円>

## (2)主な事業

**新規・拡充**

「こどもまんなか」による子育て支援の充実

事業費：767万2千円

担当課：子ども未来課

**新規**

行田タワーお披露目プロジェクト

事業費：2,400万円

担当課：都市計画課

住宅用防犯カメラ設置費補助事業

補正額：450万円

担当課：地域活動推進課

ほか

## <公立保育園受入体制強化>

予算額 7,574千円

公立保育園の受入体制の強化を図るため、新たに人材派遣を活用し、保育士を配置します。

### 目的

3歳未満児の保育料無償化により入園希望者の増加が見込まれることから、人材派遣を活用し、保育士を迅速に確保する。

### 配置施設

長野保育園、南河原保育園

### 配置人数

保育士 3名

### 問い合わせ

行田市健康福祉部子ども未来課 TEL 048-556-1111

## <プレコンセプションケアの推進>

予算額 98千円

プレコンセプションケアとは

男女ともに性や妊娠・出産に関する正しい知識を身に付け、健康管理を行うよう促すことを言い、近年、注目されている取組

### 第一段階

幼児期を対象に自分の体を正しく知ることにより自分も他者も大切にすることを意識醸成を図るため、保護者等を対象に研修を行います。

今後はライフステージごとに取組みを拡大

### 実施方法

研修会を希望する保育園幼稚園に民間講師を派遣

### 実施園

3園



# 「行田タワー」お披露目プロジェクト(仮)

- 古代蓮の里にある古代蓮会館展望室には、毎年多くの方が訪れており、市を代表するランドマークの一つですが、これまで正式名称がありませんでした。昨年度公開の映画の影響もあり、この度「ぎょうだ」の知名度向上のため正式名称を定めることとしました。  
⇒ **埼玉県唯一の展望タワーを通して県外の方にも「行田市」を知ってもらい、知名度の向上を図る**
- 1階から展望室までの区間に看板(行田タワー、GYODA)を設置し、3月にお披露目式を行うにあたり、クラウドファンディング型ふるさと納税や企業版ふるさと納税を活用し、寄附を募ります。

## スケジュール

### 看板設置

実施期間:11月～令和7年3月(予定)

### お披露目式

レーザーマッピングを用いたイベントとして実施  
令和7年3月(予定)

皆様からの  
ご支援お待ちしております!!



## 寄附金の 受入れ

### クラウドファンディング型ふるさと納税

募集期間:令和6年10月～12月(90日間)

### 企業版ふるさと納税

募集期間:令和7年3月末まで

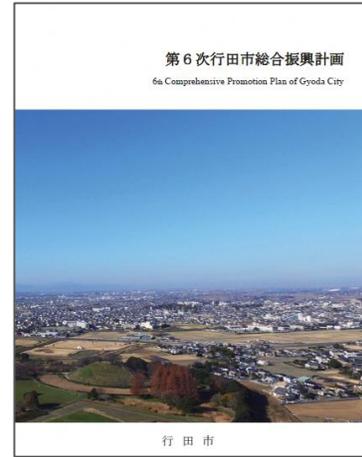
## 問い合わせ

- ・看板設置・お披露目式について:都市整備部都市計画課  
TEL 048-550-1550
- ・寄附金の受入れについて:総合政策部企画政策課  
TEL 048-556-1111(内線310)

## 現在の総合振興計画の課題

- 最上位計画として全分野を網羅 → 市の重要施策が分かりにくい
- 10年間の長期計画 → 社会経済情勢の変化に対応しづらい
- 総合計画の基本計画と各分野の基本計画で重複

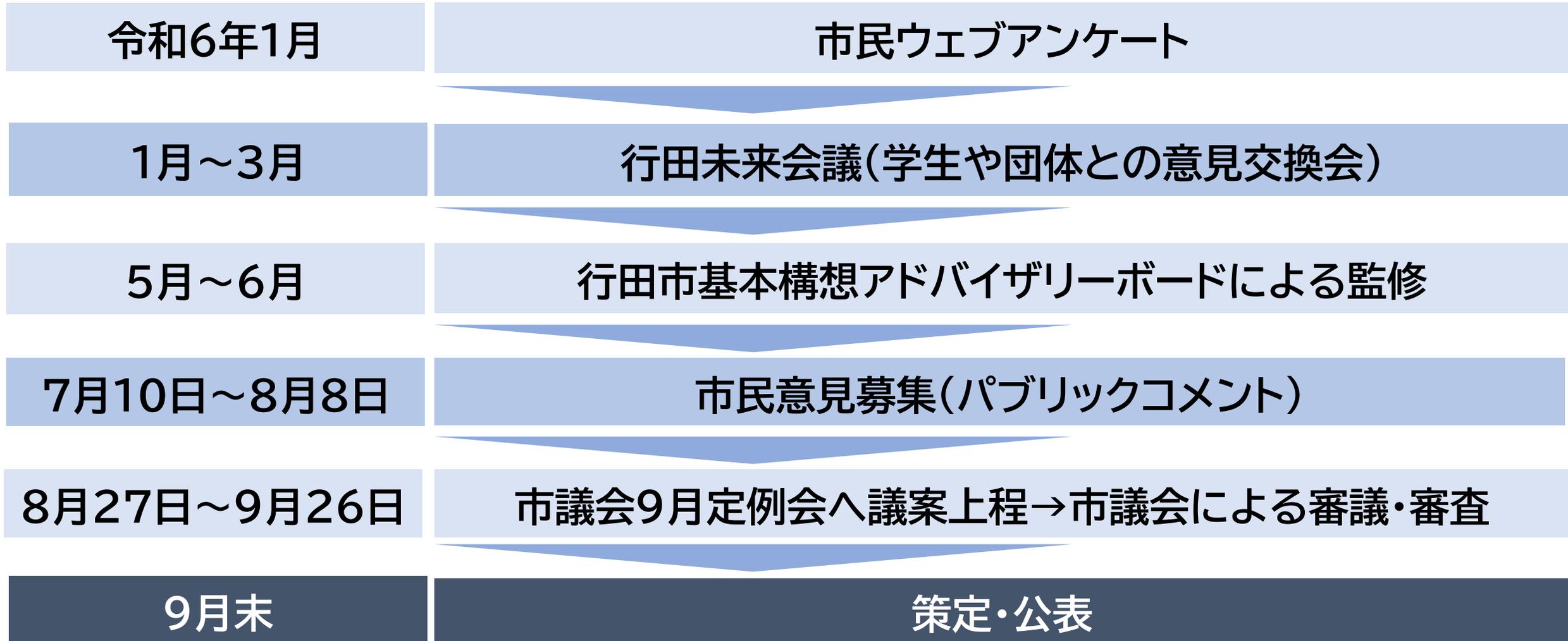
**現行の第6次総合振興計画を廃止し、新たに基本構想を策定**



## 新たな基本構想では・・・

- 総合振興計画に代わる市の最上位計画(計画期間:4年間)として策定する
- 市の目指す将来都市像を描き、その実現に向けて重点的に取り組む政策を示す
- 小説風の将来像やイラストを使用した分かりやすい構想とする

## 策定の経緯



## 行田市基本構想アドバイザーボード

- ▶ 基本構想の策定にあたり、専門的な視点から指導、助言を行う
- ▶ 行田市にゆかりのある委員5名で構成

### 委員構成

お名前	肩書き
関根 正昌	株式会社埼玉新聞社 代表取締役
根本 要	スターダスト☆レビュー ボーカル・ギター
長谷川 真一	元ものづくり大学理事長
深町 加津枝	京都大学大学院 准教授
政所 利子	株式会社玄 代表取締役

## 新しい行田の将来像 メッセージ

この街で暮らす誰もが、希望に満ちた明日を夢みているはずですが。  
でも、思うだけではなかなか叶いません。大切なのは、その夢のためにあなた自身が動きだすこと。

「行田市」は、そんなあなたの夢を応援する街として動き出します。  
街のすべての人が、幸せでいられるように後押しします。

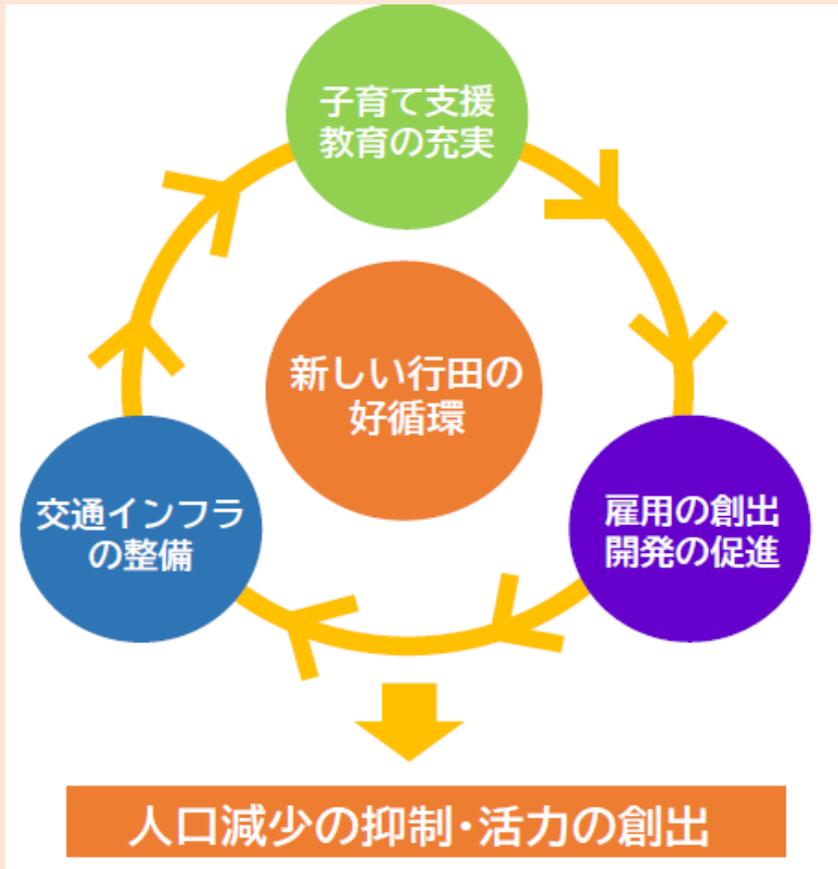
子どもたちの笑い声が響き渡り、大人たちが笑顔で会話を交わす街。  
由緒ある歴史と豊かな自然のなかで「新しい行田」を一緒に作っていきませんか。  
漠然と「暮らしやすい街」と言っても、その形態は多種多様です。

この「行田に暮らす人達」にとって、どんなふうに暮らしやすいのか、どうすれば住みやすい街になるのか。それをひとつひとつ語り合い、実現できるように工夫して、あなたの思う「理想の街」を一緒に作っていきましょう。

「行田市の将来」、それはこの街で暮らす人達と作り上げる物語なのです。

## 新しい行田の好循環に向けた重点政策

### 新しい行田の好循環



### 重点政策1 子育て支援の強化と教育の充実

- 子育てにもっと余裕を、子育てをもっと楽しく
- 英語だけじゃない、魅力ある教育を子どもたちに

### 重点政策2 開発の促進と雇用の創出

- 企業誘致で雇用を行田に
- 行田で育てよう、起業も農業も

### 重点政策3 交通インフラの整備

- 未来を切り開く、行田に高速道路を
- 駅を、都心を、もっと近くに

令和6年4月、「人口戦略会議」は、行田市を2050年までに若年女性人口が50.9%減少すると予測し、「消滅可能性自治体」とした。この「消滅可能性自治体」からの脱却を図り、今後の施策を効率的かつ効果的に推進するため、本市の人口動態の推移や他自治体との比較等の分析を実施

## 人口動態分析の内容

- 本市の過去からの人口推移や将来推計、合計特殊出生率などの基礎データ分析
- 本市と他自治体の人口動態との比較
- 他自治体の施策と人口推移の関係性
- 人口減少に歯止めをかけるためにやるべきこと

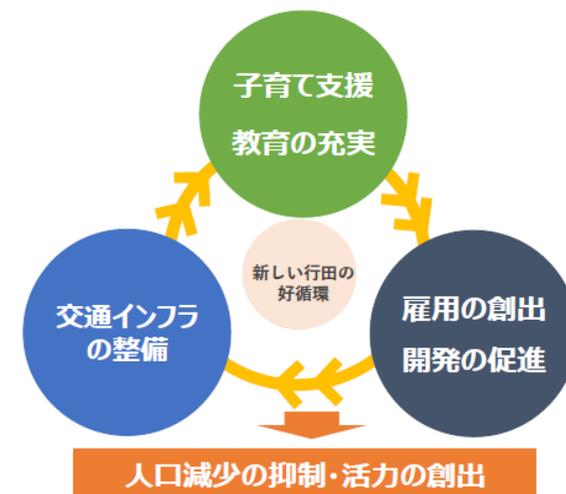
## 人口動態分析の結果

転入者数が増加している自治体共通の傾向

高速道路ICや鉄道駅の設置などにより、地域の交通利便性の向上が図られ、開発の促進や転入者の増加につながっている

## 消滅可能性自治体からの脱却に向けて

**交通利便性の向上を積極的に推し進め**、それと連動して子育て支援、教育の充実、雇用の創出などの施策を総合的に進めることにより、人口減少に歯止めをかけていく



問い合わせ

総合政策部企画政策課

TEL048-556-1111 (内線308)

令和8年度から全国の自治体で実施することとされている「こども誰でも通園制度(仮称)」の本格実施に先駆けて、行田市では本年7月から やごうこども園 で試行的事業を実施しています。  
10月からは4園を追加し、計5園で実施します。

## 目的

在宅で子育てされている世帯のお子さんが家庭では得られない様々な経験を通じて成長の機会を得ることができるとともに、保護者の不安感、孤立感の解消や育児負担の軽減を図ります。

## 対象児童

保育園等に入園していない0歳6か月～3歳未満のこども

## 利用時間

こども1人につき月10時間まで(1時間単位での利用)

## 利用料金

無料

## 利用方法

行田市公式LINEから利用登録を行い、子ども未来課にて面談後、利用したい日時を行田市公式LINEで予約

## 問い合わせ

行田市健康福祉部子ども未来課 TEL 048-556-1111



## 経緯

市内在住の栗原宣幸氏から行田市へ遺贈寄附  
名前を冠した「栗原宣幸こどもの居場所基金条例」を制定



## 積立額

1億円（こどもの居場所づくりとして県内最大規模）

## 目的

行田の将来を担う子どもたちが、様々な学びや、社会で生き抜く力を得るための糧となる多様な体験の機会に接することができ、自己肯定感や生きる力を育むことができるよう、安全で安心して過ごせる多くの居場所づくりを推進します。

## 活用方針(案)

市内のNPO法人や民間団体が運営する子ども食堂の食材購入費、イベント活動費の補助や人材育成の補助など

※子どもたちへのアンケート結果や関係団体の意見を踏まえ、決定します。

## 問い合わせ

行田市健康福祉部子ども未来課 TEL 048-556-1111